

部活動の地域展開に関する 基本方針と取組について

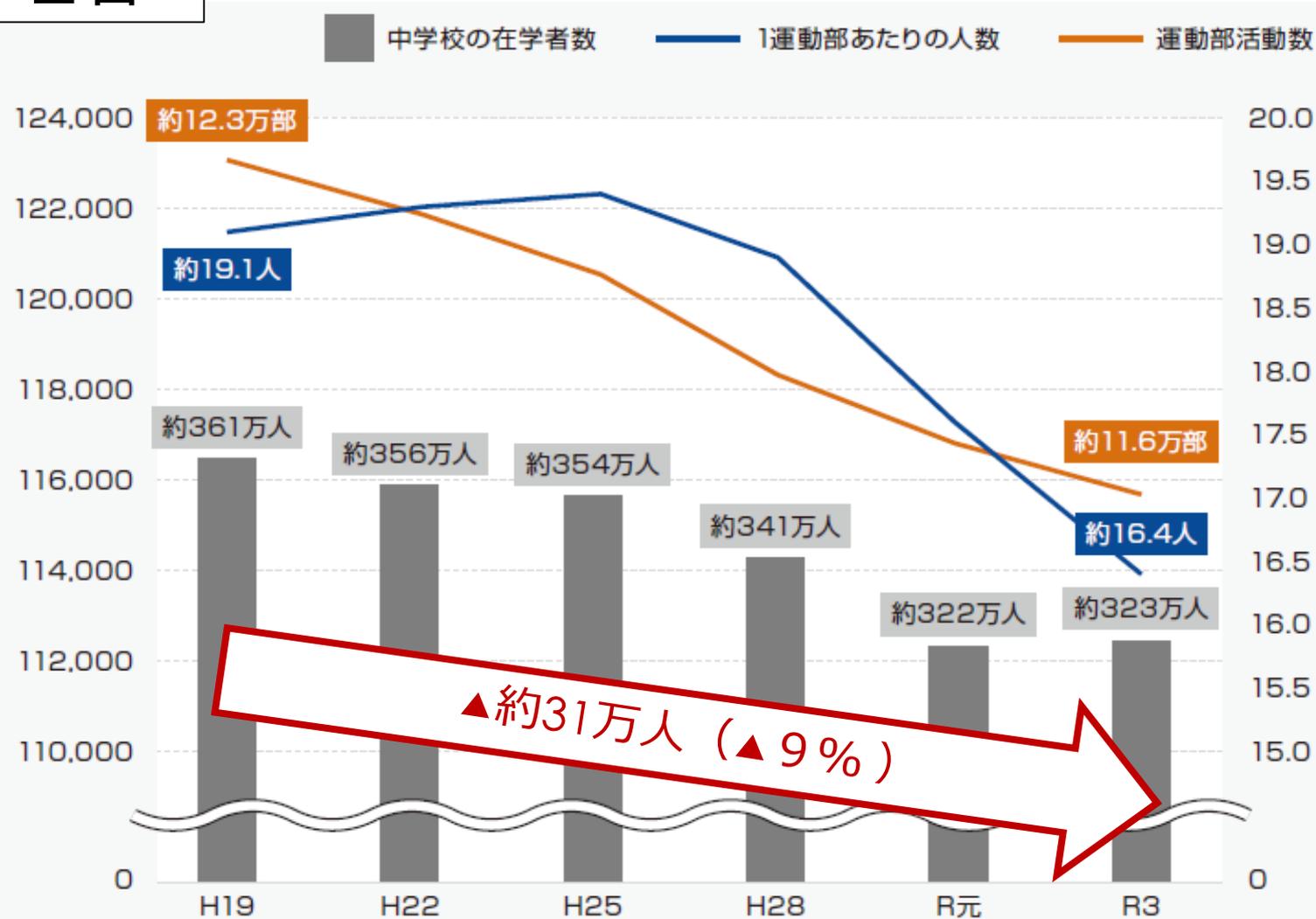


西脇市教育委員会

1. 地域展開の背景
2. 地域展開の期待と課題
3. 基本方針
4. 西脇市の最終的な目標
5. よくある質問
6. 7年度の実証事業の内容

1. 地域展開の背景（少子化）

全国

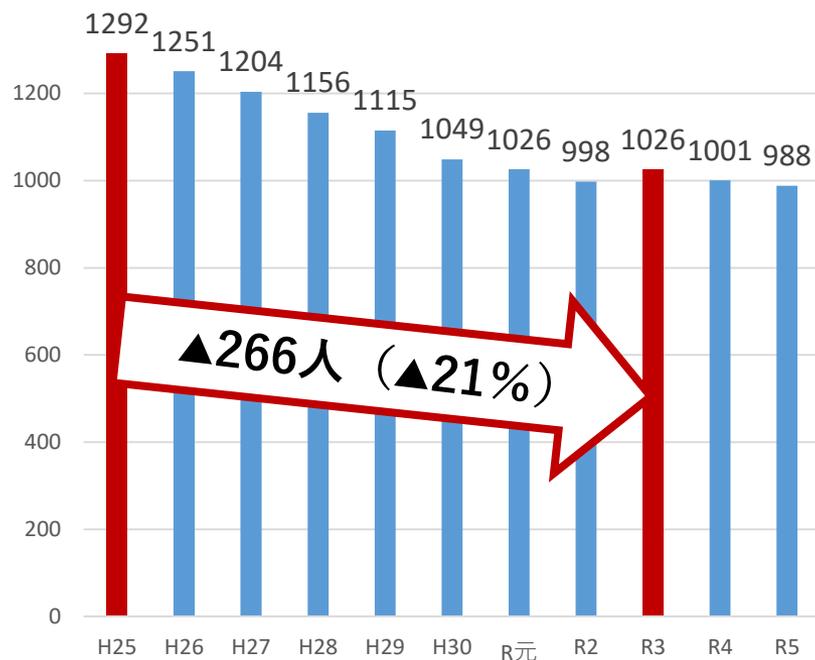


(出典) 中学校在学者数：「学校基本調査」/1運動部あたりの人数・運動部活動数：日本中学校体育連盟による調査

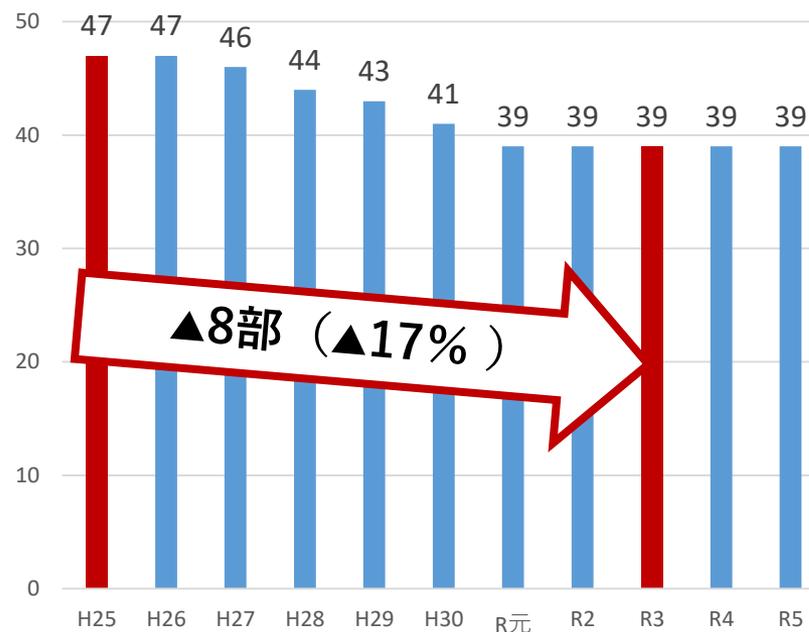
1. 地域展開の背景（少子化）

西脇市

中学校の生徒数



中学校の部活動数



<少子化による全国的な傾向>

- ・ 学校部活動を従前と同様の体制で運営することは困難
(生徒数の減少に伴い、顧問数も減少)
- ・ 学校や地域によっては存続が厳しい

1. 地域展開の背景（学校の働き方改革）

柴山昌彦 文部科学大臣のことば（平成31年3月）

《保護者・地域の皆さまへ》 ～学校の働き方改革へのご理解・ご協力をお願いします～

いま、社会全体で働き方改革が進められていますが、学校の働き方改革は特に待ったなしの状況です。

皆さまのお住まいの地域の学校は、毎日どのような御様子でしょうか。

朝は子供たちが登校する前の7時すぎから子供たちを迎えるための準備を始め、夜は職員室の明かりが20時前までついていて、土日もグラウンドや体育館で部活動をやっている、これは全国の小・中学校の平均的な姿です。

一人一人の子供たちと丁寧に向き合いたいという思いから、毎日時間に追われて働いているため、先生は他の職業と比べてストレスが高いというデータもあります。

「そのくらいなら、自分の方が働いている！」「忙しいのは先生だけみたいなこと言わないで！」。皆さまから、そんな声が聞こえてくるかもしれません。

ですが、働き方改革が必要なのは先生を楽にするためではありません。学校が、子供たちの未来に直結する場所だからです。

1. 地域展開の背景（学校の働き方改革）

柴山昌彦 文部科学大臣のことば（平成31年3月）

御存じのとおり、これから大きく社会が変わろうとしています。今でもパソコンやスマホ、外国人との仕事や交流など、私たちが子供だったときとは、取り巻く環境が違ってきています。学校は、子供たち一人一人がそんな未来をたくましく生き抜く力を身に付ける場所でなくてはなりません。

きちんと文章が理解できる力、答えのない問題に対し、自分で考え、仲間と協力して取り組む力、知らない人に自分の意見を正確に伝える力、そして英語やプログラミングなど、しっかり子供たちに身に付けさせなくてはなりません。

学校の働き方改革は、これまでの先生の働き方を見直し、毎日元気に子供たちの前に立って未来につながる力を育む教育を行うために必要なものなのです。先生には、授業やその準備をはじめとした先生にしかできない教育活動に全力投球していただきます。

**教職員が子どもたちと向き合う時間を確保し、
教育をより良くしていく必要があります**

主な期待

- (1) 生徒にとっては、専門的な指導が受けられる
また、選択肢が多様になる可能性がある
- (2) 教職員にとっては、負担軽減につながる

主な課題

- (1) 指導者の確保
- (2) 保護者の負担が発生する
謝礼・施設利用料・保険代などの費用、送迎

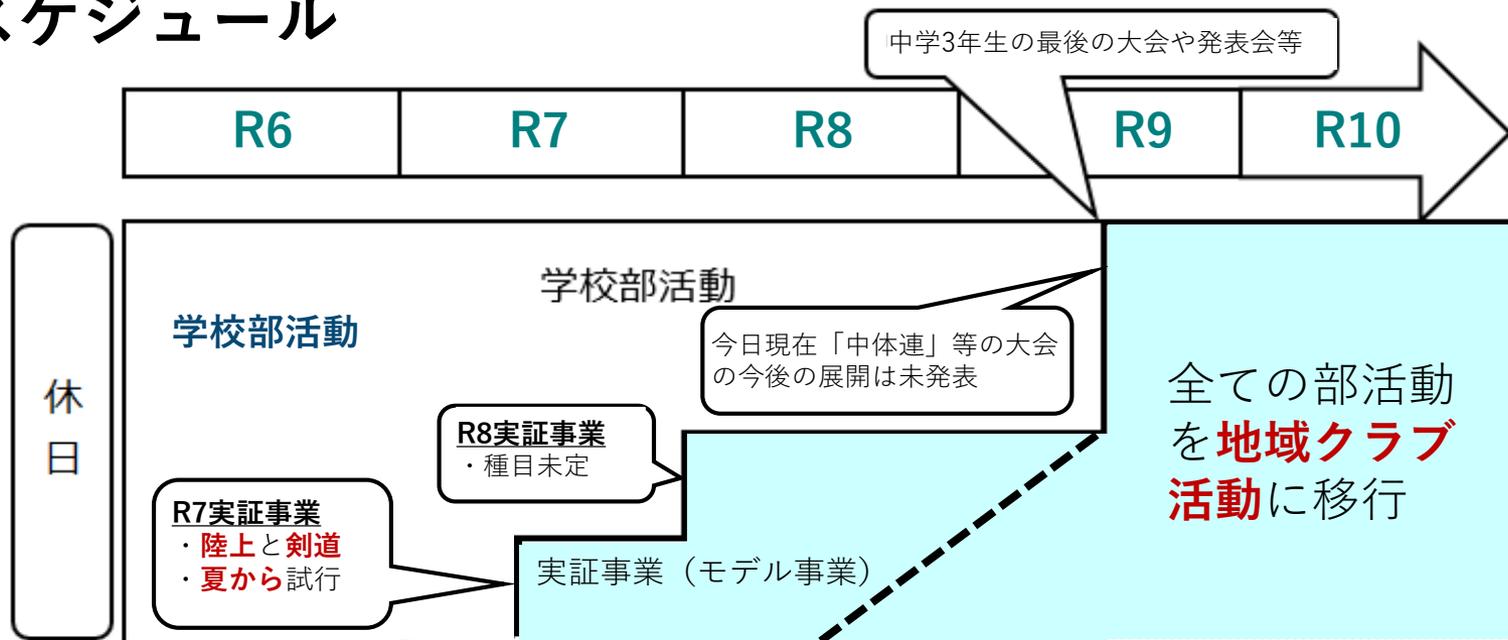
目指す姿

- 1 生徒がスポーツ・文化芸術活動に**継続して活動できる**環境づくり
- 2 **学校の働き方改革**の推進
兼職兼業等により指導を望む場合を除き、教職員が休日の学校部活動に従事しなくてもよい環境づくり
- 3 学校・地域が連携し、**生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動**の推進
- 4 地域全体で**スポーツ・文化芸術活動に親しめる社会**を実現
- 5 地域の方々との「**生徒の居場所の一つ**」となる環境づくり

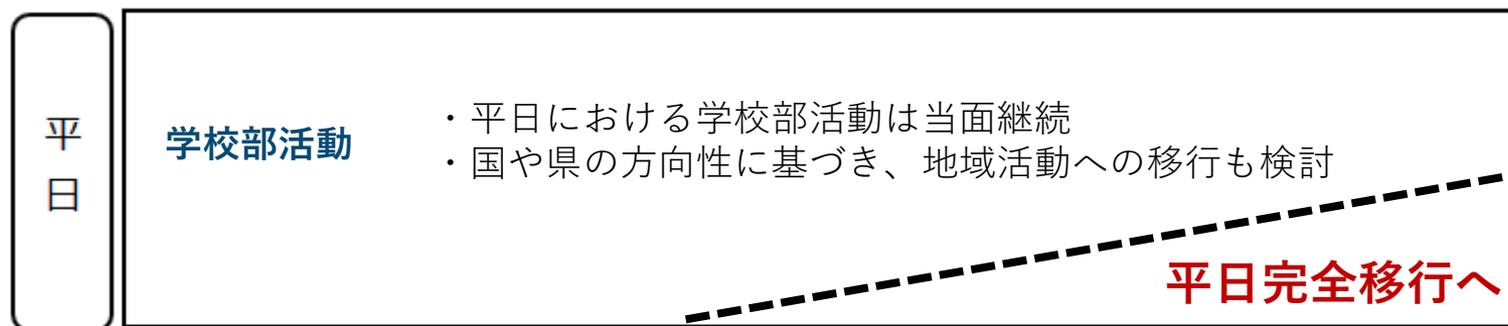
3. 基本方針 西脇市の「休日の学校部活動の地域展開」に関する基本方針（抄）



スケジュール



- ・可能な部活動から地域クラブでの活動に移行す
- ・合同部活動としたのち、地域での活動に移行することもありうる。



3. 基本方針 西脇市の「休日の学校部活動の地域展開」に関する基本方針（抄）



	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	平日	休日 (一部試行実施)	平日	休日 (一部試行実施)	平日	休日
R6入学生 (新中2)	中2 部活動		中3 部活動			
R7入学生 (新中1)	中1 部活動		中2 部活動		部活動	部活動 → 地域クラブ活動
R8入学生 (新小6)			中1 部活動		部活動	部活動 → 地域クラブ活動
R9入学生 (新小5)					部活動	部活動 → 地域クラブ活動

4. 西脇市の最終的な目標（国のガイドラインに準拠）



地域クラブ活動（平日・休日）

実施主体	・ 地域クラブ
運営団体	・ 総合型スポーツクラブ等
指導者	・ 地域の指導者 ・ 希望する教員
参加者	・ 校区の枠にとらわれない設定
活動場所	・ 学校施設 ・ 地域の諸施設
費用負担	・ 受益者負担
保 険	・ スポーツ安全保険（死亡、後遺障害、入院・通院等）

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月：スポーツ庁・文化庁）に則した設定。

5. よくある質問

(1) 実施主体、運営団体は誰ですか？

- ・ 地域クラブ（〇〇クラブ等）が実施主体となり、指導を行います。
- ・ 地域クラブを統括する運営団体の整備を検討中です。
R7年度は市教育委員会が運営団体となります。

(2) 適切な指導は実施されるのですか？

- ・ 体罰やハラスメントの根絶を徹底させます。
- ・ 生徒や保護者と十分なコミュニケーションを確保します。
- ・ 適切な休養、過度の練習防止に取り組みます。

(3) どのような活動内容をイメージすればいいですか？

- ・ 以下の2つのイメージです。
 - ア) 競技や大会志向
 - イ) 「楽しさ」「喜び」等のレクリエーション

(4) 活動場所と送迎はどうなりますか？

- ・活動場所は小中学校や公共施設等
- ・施設使用料の減免を検討中です。
- ・送迎が必要な場合は保護者に負担いただくことが原則となります。

(5) 負担額はいくらになりますか？

- ・会費等は受益者負担が原則となります。
指導者への謝礼、施設利用料、保険代等が必要です。
- ・経済的に厳しい状況にある家庭に向けては、何らかの支援策を検討します。

(6) 安全性は？

- ・ケガや事故に備えて、スポーツ安全保険に加入いただきます。

(7) 公式大会や発表会には出場・出展できるのですか？

- ・R7年度の公式大会や発表会には、学校単位で出場します。

(8) 地域展開の順番はありますか？

- ・まずは、現在実施中の学校部活動(※)から優先して地域クラブへの移行を目指します。(※軟式野球、女子ソフトボール、男女バレーボール、男女ソフトテニス、男女卓球、剣道、陸上競技、サッカー、女子バスケットボール、吹奏楽、美術)
- ・地域指導者が確保できた学校部活動から移行を優先します。

6. 7年度の実証事業の内容

(1) 実施種目

- ・ 陸上競技、剣道
- ⇒この2種目に関する休日の学校部活動は実施しません。

(2) 参加対象者

- ・ 市内4中学校に通う中学生
- ・ 部活動を卒部した3年生も参加可
- ・ 後日、全生徒に参加の意向を確認します（希望者のみ申込み）

(3) 活動場所

- ・ 陸上競技…西脇中／都麻の郷交流グラウンドのいずれか
- ・ 剣道…西脇南中
- ・ 活動場所へは、各自または保護者の送迎で集合

6. 7年度の実証事業の内容

(4) 活動開始日

- ・令和7年8月の最初の休日（2日(土)or3日(日)）

(5) 中体連の大会への参加資格

- ・学校の陸上競技部や剣道部に所属していれば、学校から参加できる
- ・地域クラブ活動のみに所属している場合は、参加できない

(6) 指導者

- ・陸上競技…小宿義幸氏（西脇中学校部活動指導員）他
- ・剣道…石田れい子氏（西脇南中学校部活動指導員）他

(7) 参加費

- ・指導者への謝礼、保険代、施設使用料は不要(実証事業中は市負担)

部活動の地域展開に関する基本方針と取組について

ご静聴ありがとうございました

